

令和6年10月4日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 川森 大輔
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 上野・寺尾・菅野 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

病院経営動向調査 (2024年9月) の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2024年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。
詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象: 病院(362施設)を運営する法人280法人(うち、医療法人235法人)*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項: 病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2024年度上半期の経営状況等
- 回答数: 病院: 242 医療法人: 158 有効回答数: 病院: 242 医療法人: 158
- 有効回答率: 病院: 66.9% 医療法人: 67.2%
- 実施期間: 2024年9月2日(月)～2024年9月23日(月)
- 実施方法: Web上で実施
- 集計方法: DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医療収益のDIは、一般病院が10(前回調査より8%ポイント上昇)、療養型病院が6(同38%ポイント上昇)、精神科病院は△4(28%ポイント上昇)となった。
- 医療収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が△30(前回調査より5%ポイント上昇)、療養型病院が△10(同20%ポイント低下)、精神科病院は△11(同3%ポイント上昇)となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が△14(前回調査より3%ポイント上昇)、療養型病院が△6(前回調査より2%ポイント低下)、精神科病院は△29(同3%ポイント低下)となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△38(前回調査より3%ポイント低下)、療養型病院が△37(同5%ポイント上昇)、精神科病院は△62(同6%ポイント低下)となった。
- 経営上の課題として「人件費の増加」を挙げた病院は、一般病院が69.0%(前回調査より7.0ポイント上昇)、療養型病院が67.3%(同1.3ポイント上昇)、精神科病院が51.1%(同2.4ポイント低下)となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは6(前回調査より24%ポイント上昇)、事業収支(黒字・赤字)のDIは△13(同4%ポイント上昇)、資金繰りDIは△13(同2%ポイント低下)、従業員数のDIは△45(同8%ポイント低下)となった。

【その他】

- 2024年度上半期の医療収益(見込み)について、前年度同期比5%以上増加する見込みの病院が23.2%、5%以上減少する見込みの病院が18.3%となった。また、医療利益(見込み)は、前年度同期比5%以上増加する見込みの病院が19.7%、5%以上減少する見込みの病院が37.6%となった。
- 医療収益が増加見込みとなった主な理由として「入院患者数の増加」と回答した病院が66.1%と最も多かった。一方、医療収益が減少見込みとなった主な理由として「入院患者数の減少」と回答した病院が61.4%と最も多かった。
- 医療費用が増加見込みとなった主な理由として「人件費(従事者1人当たり人件費)の増加」と回答した病院が40.7%と最も多く、続いて「経費の増加」と回答した病院が36.3%であった。